

別紙 2 可児市学校給食センター整備 P F I 事業審査委員会委員長審査講評

本事業は、可児市における、また、岐阜県における学校給食センターとして、初めての P F I 事業である。本事業においては、多くの企業から関心をいただき、最終的には 5 グループから提案書を受けた。

各提案とも、施設の建設費及び運営費等からなるライフサイクルコストは、市が直接実施する場合に比べ、市の財政負担額が大幅に縮減されているとともに、創意工夫による公共サービスの向上が図られており、各位の工夫及び努力に対し感謝する。

本審査委員会の所掌事務である定量化審査においては、全ての評価項目について、落札者決定基準に基づく慎重な審査を行った。その結果、東亜建設工業(株)グループによる提案を全会一致により、最優秀提案として選定するに至った。

なお、当該グループは、技術提案に関して最高得点を得た提案であるとともに、事業期間を通じた割賦料及び委託料の大幅な削減が図られており、入札価格審査については最も高い得点の提案であった。設計・建設業務、維持管理業務においては、入札参加者中最高得点を獲得しているほか、給食運搬業務、事業計画においても優れた提案であった。このことは、市が本事業において期待した、学校給食サービスの水準向上、良好な衛生管理体制の構築への対応等を、安定的かつ継続的に図ることが期待できると判断できる。

今後、市の落札者決定を経て、当該グループが設立する特別目的会社と市は事業契約を締結することとなるが、当該グループに対しては、公共サービスのさらなる向上のため、以下の諸点に努めるよう本審査委員会として期待したい。

良好な官民パートナーシップの形成について、市とともに努力すること。

給食が学校教育の一環を担うことに留意すること。

新たな施設の円滑な整備・運営や衛生管理に配慮した建築・設備計画の一層の質的向上に努めること。

学校給食のサービス提供という事業特性に留意し、特に衛生面については、常に最大限の注意を払うこと。

平成 16 年 12 月 10 日

可児市学校給食センター整備 P F I 事業審査委員会
委員長 櫻井克彦